

中心市街地活性化特別委員会視察報告書

| | |
|------|--|
| 期 日 | 令和元年 11 月 13 日（水）～14 日（木） |
| 視察先 | 愛知県一宮市 |
| 出席者 | 川口仁委員長、渡辺貞雄副委員長、井上敏夫委員、池田博英委員、高橋豊委員、望月真実委員、高村真和委員、難波達哉委員、田上祥子委員 |
| 随行者 | 青木副主幹 |
| 調査項目 | 新庁舎建設事業について |
| 概要 | <p>一宮市は、平成 17 年 4 月 1 日に旧一宮市、旧尾西市、旧木曾川町の 2 市 1 町が合併し、人口 38 万人を擁する新生一宮市が誕生した。</p> <p>合併時、各市町の旧庁舎を総務企画部門、建設・上下水道部門、教育部門に分けた分庁方式で行い、住民票などの基本的な手続きは各庁舎で行うことができたが、専門的な手続きは市民が庁舎間を移動しなければならなかった。また、耐震診断の結果、昭和 5 年に建設された本庁舎は、2 回の増改築により、完全な耐震改修は構造上困難であった。以上の課題から新庁舎を建設する議論は加速された。</p> <p>平成 20 年に基本構想、翌年には基本計画、その後、基本設計、実施設計を作成し、同敷地内の旧庁舎で業務を継続したまま、平成 26 年 3 月に新庁舎が建設され、同年 5 月から業務を開始している。</p> <p>新庁舎の主な特徴は、1 階に総合窓口の開設、展望ロビーに市民ギャラリーの開設、防災会議室の 103 インチディスプレイに情報が集約され迅速な災害対応が可能なこと、停電時 72 時間の電気を供給できる非常電源を備えていることなどがあげられた。</p> <p>総事業費は、約 119 億円。財源の大部分は合併特例債を利用している。</p> <p>業務開始後の課題としては、当初、充分であると見込んでいたが、職員増による執務室の不足や会議室の不足などがあげられた。</p> <p>本市で計画している複合施設等の建設に向け、防災対策や十分な事前調査の必要性など、参考となるものであった。</p> |
| 主な質疑 | <p>Q 総額約 119 億円の内訳として、内装や、設備費用も含んでいるか。</p> <p>A 全部含んだ費用となっている。</p> <p>Q 本市で計画されている複合施設は 48 万円／㎡で計算されているが、一宮市は 32 万 7000 円／㎡で建設できた理由は。</p> <p>A 工事契約を締結したのが、東日本大震災の年の 10 月であり、その後に建設物価が上昇したと考えられる。</p> <p>Q 庁舎建設の場所は商業地域であるが、候補地として選定した理由とその後の評価はされているか。</p> <p>A 当時の議論の中で、新庁舎は、駅から歩いて行ける場所及び商店街を通って行ける場所で人が集まる施設として考えた。現在の場所に建設して、市民から不満であるとの意見は聞いていない。</p> |

| | |
|------|--|
| 調査項目 | 尾張一宮駅前ビル（iビル）について |
| 概要 | <p>昭和 20 年代に建築された旧駅ビルは、老朽化が進み、耐震基準も満たしておらず、街頭アンケートにおいても 9 割の人が建てかえを希望していた。土地、建物が民間鉄道会社の所有であったため、なかなか話が進まなかったが、民間鉄道会社とは、市が駅前ビルを建設するという条件付きで借地の了承を得たことから、市で建設する方針が定まった。</p> <p>平成 20 年に基本計画を策定、その後、基本設計、実施設計を作成し、24 年に一宮市の新しい顔として、多用途に利用できる尾張一宮駅前ビル（iビル）が開館した</p> <p>特徴的な施設は、中央図書館や子育て支援センターを初め、同窓会や懇親会などに利用可能で広さ 426 m²あるシビックホール、広さ 1,100 m²、高さ 10mある開放的な空間で各種イベントや自動車の展示なども可能なシビックテラスなどがあった。</p> <p>館内の各施設は、それぞれの管理者が運営し、館内全体の清掃、整備などは指定管理者が行っている。貸館全体の稼働率は、天候に左右されるシビックテラスを除くと 87.6%であったが、平日の稼働率を上げることが今後の課題であった。</p> <p>中央図書館では、緊急雇用創生事業を活用し、全館の蔵書 80 万冊に I C タグを付け、短時間で貸出手続が可能な自動貸出機や約 30 万冊の書籍を各階の出納ステーションから自動で取り出すことが可能な自動化書庫を活用など、サービスが充実していた。</p> <p>本市で計画している複合施設内の図書館建設等に参考となるものであった。</p> |
| 主な質疑 | <p>Q 民間鉄道会社が人口 38 万人の一宮市で、1 日 8 万人の乗降者がいても、駅ビル再整備は採算がとれないと判断された理由をどのように考えるか。</p> <p>A 尾張一宮駅は、名古屋駅に 10 分で行ける距離にあり、採算面で考えると、最初の数年はいいが、年数経過による不安要素があったと考えている。</p> <p>Q 当初、商業施設は考えず、階数はあまり高くない公的施設でこの事業が進められてきたのか。あるいは、他の拠点も考えていたのか。</p> <p>A 当初、商業施設を誘致し、建設費をペイしようとして検討したが、大型商業施設やホテルは、最初のうちは、採算はとれるが 10 年、20 年、30 年と長いスパンで考えた時に、採算をとり続けることができるのかという疑問があり、行政として図書館を中心とした公共公益施設を設置した方が現実的ではないかと判断した。</p> |